

令和6年度

中原小学校1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： きせつとなかよし ～ あき ～
(活動名)

ねらい：
・秋の自然に対して諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付ける。
・自然や生活の様子の変化や自然の面白さ、不思議さに気が付く。
・公園のルールやマナーを守って遊ぶことができる。

【10月】



生活科の校外学習で、いきの森公園に行きました。秋の空気を吸い、木の実を拾い、体全体で秋を感じました。



【10月】

拾ってきた木の実や落ち葉を観察したり、そこからどんな遊びができるか考えたりしました。

魔法使いの杖みたい！



【11月】

生活科や図工で、自然物を使い、いろいろなものを作りました。

何つくろうかな。



【11月】

東京大学田無演習林に行って、植物や生物に詳しい先生から色々な話を聞きました。

コラム

秋の自然の中へ飛び出し、体全体で季節を感じ、楽しむことを通して、「春」や「夏」との違いに気が付き、これから訪れる「冬」への予想や楽しみをもつことができました。東京大学田無演習林では、同じドングリや松ぼっくりでも、たくさんの種類があることを教えてもらい、松の葉が二本に分かれているものと三本に分かれているものを見るだけでも、「全然、気が付かなかった！！」と驚きの声が聞こえました。木や木の実に寄生して生きる虫の様子などには興味津々。「秋」の学習を通して、自然の変化だけでなく、人との関りも学ぶことができました。